

「同性パートナーシップ制度」の導入について

「同性パートナーシップ制度」の導入を決断すべき時

【さいとう愛子議員】「同性パートナーシップ制度」とは、同性カップルが宣誓書を自治体に提出すると受領証等が交付され、自治体から同性カップルとして認められるというものです。この制度をすでに導入している自治体では、公営住宅への入居、緊急時の病院での面会や病状説明を受けることなど、男女のパートナーなら当然可能な制度が利用できるようになっていきます。



「同性パートナーシップ制度」は、5年前に渋谷区が全国で初めて導入したことを契機に、特定非営利法人虹色ダイバーシティによると、1/20 現在、33自治体に広がり、政令市では、来年度予定・検討している7市を含め、4分の3の15市が導入することになると聞いています。自治体間の連携も始まり、熊本市と福岡市は両市が共同して都市間相互利用の協定を結び、転居後も証書が使えるようにし、当事者の負担を減らしています。広島市と岡山市も同様に協定を結ぶとしています。

同性パートナーシップ制度を設けている自治体			
	政令市	その他自治体	
導入済み	札幌市 福岡市 大阪市 千葉市 堺市 熊本市 北九州市 横浜市	東京都渋谷区 東京都世田谷区 三重県伊賀市 兵庫県宝塚市 沖縄県那覇市 東京都中野区 群馬県大泉町 東京都府中市 神奈川県横須賀市 岡山県総社市 神奈川県小田原市 大阪府枚方市 東京都江戸川区	東京都豊島区 栃木県鹿沼市 宮崎県宮崎市 茨城県 長崎県長崎市 愛知県西尾市 兵庫県三田市 大阪府交野市 大阪府大東市 神奈川県鎌倉市 香川県三豊市 兵庫県尼崎市 大阪府
導入予定	新潟市 相模原市 浜松市 さいたま市 岡山市 広島市	神奈川県逗子市 東京都港区 千葉県習志野市 沖縄県浦添市 兵庫県明石市 香川県高松市	宮崎県木城町 徳島県徳島市 など

当事者のみなさんにとってどんな点が重要なのでしょうか。アンケートに答えてくれた方は「何が変わるの？って思う人もいるけど、今までずっと嘘をついたり、こそこそ隠れたりしたことを行政から認めてもらえる。自分の中ではとても大きなこと」と言います。また、宣誓書に署名した女性カップルの一人は、20代で同性愛者であることを母に伝えたときは否定的な受け止めだったけれど、制度発足の様子がテレビや新聞に報道されて、初めて母から「おめでとう」のことばを聞くことができたとのことです。自治体の制度があることが、安心感や「心の支え」につながっています。

日本弁護士連合会は、昨年7月に初めて同性婚に関する意見書を公表しました。同性婚を認めないことは、憲法13条、14条の法の下での平等に反する重大な人権侵害であ

り、憲法 24 条は同性間の結婚を禁止するものではないとしています。同性婚については、国会の法改正を待たねばなりません、その前に自治体ができることとして「同性パートナーシップ制度」があります。電通の調査では、13 人に 1 人という決して少なくない、性的指向や性自認がマイノリティの方々の生きづらさに寄り添うこと必要ではないでしょうか。

2017 年 6 月定例会の本会議で、わが党の西山あさみ議員の質問に対し市長は「前向きに検討する。ちょっと待って」と答弁されました。それから 2 年半たちました。「国の動向や他の自治体の取り組みについて調査研究を進める」と答えておられます。そこで、総務局長にお尋ねします。

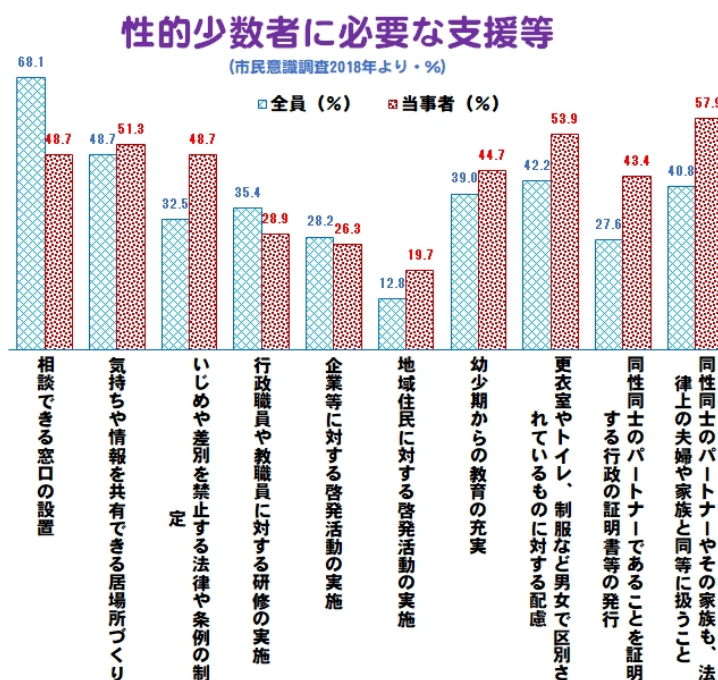
本市でも、もう「同性パートナーシップ制度」の導入を決断すべき時であると思いますが、いかがですか。

調査研究を進めたい（総務局長）

【総務局長】性的少数者に対する偏見や差別は人権問題であり、市では、その解決に向けて様々な取り組みを行っています。これまでも、市民・企業・職員向けに講座・セミナーなど、正しい理解の促進を図ってきた。

昨年度に市民一万人を対象に実施した「性的少数者など性別にかかわる市民意識調査」では「性的少数者に対し必要な支援」として「相談できる窓口」が最も多い回答だったので、「専門相談窓口」を 12 月に開設、当事者や周りの方々の相談を受けている。

同性パートナーシップ制度も、引き続き、国の法制度の動向や他の自治体の状況、先進的に導入している自治体の実績などについて、調査研究を進めたい。



なぜ導入しないのか これ以上何を調査するのか

【さいとう議員】1万人アンケート結果で、当事者の要望は「同性同士のパートナーやその家族も、法律上の夫婦や家族と同等に扱うこと」という回答が最も多い結果で、「法

律上認められたカップルと同等に扱ってほしい」と求めています。法的効果はないけれど、せめて、自治体ができるのが「同性パートナーシップ制度」です。

「性的少数者に対する偏見や差別は人権問題」と答弁されました。人権が侵されており、問題があるという認識を持っていながら、この状態のままなのですか。

総務局長にお尋ねします。

答弁でも人権問題であると認めておられ、当事者の要望もあり、4分の3の政令市が導入する、「同性パートナーシップ制度」を導入しないのはなぜですか。今回も調査研究を進めると答弁されましたが、これ以上何を調査するのですか。

調査研究を進めたい（総務局長）

【総務局長】昨年度の市民意識調査で、性的少数者についての市民の意見は様々でした。同性パートナーシップ制度の導入は、市民の意見聞きながら、しっかりと考えていかなければならない。

他都市の制度内容も様々であり、引き続き先進的に導入している自治体の実績や制度内容、課題など調査研究を進めたい。

必要なのは決断

【さいとう議員】2年半前も「調査研究を進める」と答えておられ、ずっと研究を進めてきて、現段階では、あとはもう決断するだけではないですか。

名古屋から、同性パートナーシップ制度のある自治体へ引っ越した当事者の方からメールをもらいました。「パートナーの体が弱いので、緊急時のためパートナーの登録をしておこうと思う。こちらは、暮らしていく上でとても安心感があります。市役所に転入届を出しに行く時とか、市としての理解があるんだってということが分かっているだけでかなり暮らしやすいと思っています。」と安心を感じておられます。そんなささやかな安心感すら持てないような市政ではなく、「同性パートナーシップ制度」を求める方々に寄り添い導入を決断すべき時であると強く要望して、この件は終わります。

小規模校の統廃合について

住民のなかの疑問や不安の声に答えてほしい

【さいとう議員】いま市内では、3つの地域で、「ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画」による、小中学校の統廃合が進められようとしています。天白区では高坂小を廃止

し、しまだ小に統合する。港区では、野跡小を廃止して稲永小に統合する。守山区では、本地丘小・森孝東小・森孝西小の3小学校を廃止し、森孝中学校との小中併設校として再編する、という計画です。



この間7学区で12回、保護者と地域住民に対して、それぞれの学校統廃合に関する説明会が開催されました。私も各会場で直接、保護者と地域住民の声を聴かせていただきましたが、どこでも突然の計画に戸惑いや疑問、特に、保護者から困惑の声があがり、保護者や住民の納得と合意を得るには程遠いと感じました。同時に、地元の学校が地域のみなさんにどれだけ愛されているかも実感することができました。地域の合意抜きに強引に学校統廃合を進めることは、名古屋市の教育行政が長年育ててきた地域との信頼関係を壊しかねません。

そこで教育長にお尋ねします。3つの統廃合

名古屋市が進める統廃合計画の例

区	統合対象校	統合計画
天白区	高坂小学校 島田小学校	島田小学校
港区	野跡小学校 稲永小学校	稲永小学校
守山区	本地丘小学校 森孝東小学校 森孝西小学校 森孝中学校	森孝小中学校

小規模校対策に関する実施計画の概要（2010年）

第1グループ(2016年度までに実現目指す9校) 6学年すべてが単学級の学校	区	学校名	方針	区	学校名	方針	区	学校名	方針
	西区	幅下小	3校統合 2015年4月開校	西区	南押切小	第2Gの榎小・第3Gの栄生小に3校統合	昭和区	白金小	村雲小に統合
那古野小		中村区		豊臣小	第3Gの諏訪小に統合	南区	大生小	宝小に統合	
江西小		中区		御園小	名城小に統合	天白区	高坂小	第2Gの相生小に統合	
第2グループ(できれば2016年度までに実現したい18校) 2016年度までに「6学級⇒7から11学級」または「7から11学級⇒6学級」	区	学校名	区	学校名	第3グループ(地元の見解を聞く17校) 2016年度まで7～11学級の状況が継続する見込み	区	学校名	区	学校名
	千種区	内山小	中川区	広見小		東区	東桜小	瑞穂区	井戸田小
		千種小		正色小			明倫小	港区	西福田小
	北区	六郷小	港区	中川小		北区	大杉小	南区	白水小
		六郷北小		西築地小			杉村小		柴田小
	西区	榎小	緑区	浦里小		西区	栄生小	守山区	本地丘小
		浮野小	名東区	梅森坂小			米野小		西城小
	中村区	中村小	天白区	相生小		中村区	諏訪小	守山区	本地丘小
	中区	栄小	平和小	中区			松原小		名東区
		千早小	大須小			昭林区	鶴舞小		

- *最初の統合は、2002年4月開校の、中村区ほのか小学校。本陣小、則武小、亀島小を統合。
- *その後は、2010年4月開校で、新明小と六反小が統合し、笹島中学校の中に笹島小・中学校として設立。
- *その次が小規模校対策による2015年4月開校の西区なごや小学校。
- *2020年3月時点で、中区の御園小と名城小の統合計画が進められています。

計画の問題点について、私が聴いた住民の疑問や不安の声にそれぞれ具体的に答えていただきたいと思います。

「ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画(2019年3月)」での
市内の小規模校 ※2018(平成30)年5月1日現在

小学校 73 校

区	学校名	区	学校名
千種	内山⑥、千石⑧、千種⑨	熱田	高蔵⑩
東	砂田橋⑨、葵⑪	中川	正色⑥、広見⑥、愛知⑨、露橋⑨、西前田⑨、明正⑨、西中島⑪、八熊⑪
北	六郷⑥、六郷北⑥、杉村⑧、如意⑨、川中⑩、大杉⑪、辻⑪、西味鏡⑪、宮前⑪	港	東海⑥、中川⑥、神宮寺⑦、西築地⑦、西福田⑦、野跡⑦、成章⑪
西	浮野⑥、栄生⑥、南押切⑥、榎⑩、児玉⑩	南	柴田⑥、大生⑥、千鳥⑦、大磯⑩、宝⑪
中村	笹島⑥、豊臣⑥、米野⑦、中村⑦、牧野⑧、稲西⑨	守山	本地丘⑥、森孝東⑥、西城⑨、森孝西⑩
中	大須⑥、新栄⑥、千早⑥、平和⑥、御園⑥、老松⑦、栄⑦、名城⑨、松原⑩	緑	浦里⑦、黒石⑩、常安⑩
昭和	白金⑥、鶴舞⑦	名東	牧の原⑧、梅森坂⑨、引山⑪、豊が丘⑪
瑞穂	堀田⑧、御劔⑩	天白	相生⑥、高坂⑥、平針北⑩

中学校(4校)

区	中学校名	区	中学校名
西	菊井⑤	中	丸の内③、前津⑤
中村	笹島③		丸数字は学級数

地域と一体となった高坂小の教育実践

【さいとう議員】まず、天白区の高坂小学校の廃止についてです。高坂小は、約10年前にも、相生小との統合計画が出されましたが、地元住民などの猛反対でとん挫した経緯があります。ところが、今回は、相生小ではなく、しまだ小と統合先が変更になり、保護者や住民からは、「また高坂小を無くすというのか」「教育委員会は、統合先はどこでもよく、とにかく高坂小をつぶしたいということか」と怒りの声が上がっています。

高坂小での説明会では、「学校が小さいから、兄弟もみんな先生は知っている。先生たちは、子どもを表面的なことだけで見ない」「小学校がなくなれば、若い世帯が増えないし、地域はどんどんすたれていく」などの意見が出され、小規模校が悪いというけど、大きな学校ではきめ細かい教育はできないと言われ、わざわざ実家のある高坂学区に引っ越してきたという人もいと聞きました。

学校の子どもたちの様子は、連合自治会が毎月発行する「広報高坂」に町内のみなさんに生き生きと伝えられています。昨年11月号は稲刈りのことが書いてあります。高坂小には校庭の一部に水田があるのです。「今年の高坂水田は大豊作。4年生と5年生が地域の方にお力添えをいただいて、たくさんの餅米を収穫することができました。」

とあります。隔週金曜日の朝行われている「たかさかタイム」など、地域と学校、住民と子どもたちの温かい交流が育まれている学校です。

教育長にお尋ねします。

高坂小の地域と一体となった教育実践を素晴らしいとは思われませんでしたか。クラス替えができるかどうかだけで判断するのではなく、小規模校ならではの地域に溶け込み、愛されている学校を存続させ励ましていくことこそみなさんの仕事ではないでしょうか。

高坂小の取り組みは意義ある事（教育長）

【教育長】高坂小学校で行われている水田を活用した取り組みなどは、意義のあることだと捉えており、統合にあたっては、こうした特色のある教育活動を始めとした学校のよさを継承・発展させていきたい。

参加者の少なかった野跡小説明会 小規模校でこそ、きめ細かい配慮ができ信頼関係が築ける

【さいとう議員】港区の野跡小は、もともと稲永小の分校だったこともあり、それなりに地域の一体感があります。しかし、両校で昼・夜2回ずつ開かれた説明会に参加した保護者は両校合わせて58人とどまりました。配布された資料には特別支援学級の在籍児童が野跡小は6名とありました。統合先の稲永小は2名です。特別な支援が必要な子どもたちも多いのです。通学距離が長くなる不安もより大きいと思うのですが、保護者の意見は説明会にはありませんでした。

一方で、外国籍の保護者の姿が数人あり、学校が遠くなる、大きくなる、日本語指導などへの不安な声が出されていました。宗教的理由で豚肉が食べられない子どもたちも少なくありません。学区にある保育園では、15%の子どもさんがハラール食対応となっており配慮した給食となっています。小規模の学校でこそ、きめ細かい配慮が必要な子どもたちに寄り添い、保護者との信頼関係が築けているのではないのでしょうか。野跡学区は、9割を超える世帯が市営住宅に暮らしており、ひとり親世帯や障害者世帯も多く、経済的にもたいへんな世帯も少なくありません。説明会にもなかなか参加できない保護者の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

教育長に伺います。

野跡小の説明会だけでは保護者の思いを十分にくみ取れなかったのではありませんか。野跡小では、学校の統合ではなく、一人ひとりの児童にきめ細かい指導がしやすい、小規模校の良さを存分に発揮すべきではありませんか。

回覧版などで周知し、意見を伺う（教育長）

【教育長】野跡小学校など、関係校で開催した説明・意見交換会における、様々な意見や質問、教育委員会の考え方をおたよりという形でまとめた。内容を学校から保護者への配布や地域での回覧などで周知を図り、引き続き意見を伺っていく。

狭い運動場、通学路の不安が解決できていない森高中学校での統廃合

【さいとう議員】中学校の場所に3小学校と1中学校が併設される森孝中学校区の統廃合計画にも厳しい声が上がっています。「今でも運動場が広いとは言えないのに、必要な面積などが不足しないのか？そもそも非現実的ではないか？」との指摘がありました。森孝中学校は、南は香流川に面し、三方を戸建て住宅やマンションに囲まれており校地を広げる余裕はありません。説明会では、こうした保護者の疑問に明快な答えはありませんでした。

また、通学面では、本地丘小学校の保護者から、通学距離は2km以内とされていますが、坂の上り下りがあり、交通量の多い、出来町通りを渡って重いランドセルを背負って往復するのは、特に低学年の児童にとってはかなり負担が大きいという声がありました。途中は、名古屋市ではなく尾張旭市を通過して通学することにもなるのですが、通学路の安全面は誰が責任を持つのでしょうか。

そこで教育長にお尋ねします。

森孝中学校ブロックにおいて、施設整備の見通しも通学路の不安解消の見通しもないまま4つの学校を一つにしてしまう今回の計画はあまりに乱暴ではありませんか。

今後検討する（教育長）

【教育長】森孝中学校ブロックの統合に関する施設整備や通学の安全対策は、いただいた意見なども参考にしながら、今後、具体的な取り組みを進める中でしっかり検討していきます。

小規模校にはよさもあるが課題もある。このような課題を解決するため、望ましい学校規模を確保することで、子どもたちにとってよりよい教育環境の実現に努めたい。

子どもの声を聞く機会を設けるべき

【さいとう議員】高坂小の説明会では、参加していた児童から「子どもの意見を聞いてほしい」との発言がありましたが、答えはありませんでした。野跡小の説明会では保護者から「子どもたちの意見は聞かないのですか？」との質問が出されましたが、答えは「保護者を通して意見を聞く」というものでした。この姿勢でよいのですか？

今度の学校統廃合計画の最大の問題点の1つは、住民の合意抜きに教育委員会が主体

的に判断し、統廃合を強引に進めている点にあります。そして、何よりも、大切にしなければならぬ、子どもの権利、意見表明権をないがしろにしているのは、二重三重の問題です。

教育長に2点お尋ねします。

子どもの意見をきちんと聴く機会を設けるべきではありませんか。

子どもたちからは統合後の学校のアイデアを聞く

【教育長】子どもたちの発達段階に応じた適切な心のケアに努め、まず保護者や地域の意見を伺って、具体的に検討が進む中で、新しい学校づくりに関するアイデアを子どもたちから募集する。

「個別プラン」は作る段階でない

【さいとう議員】また、学校統廃合には、地域住民や保護者の合意と協力が不可欠ですが、説明会では、反対や疑問の声が多く、統廃合計画を前に進められるような実感はありません。今回の説明会だけで、対象校ごとの「個別プラン」を作る段階にないと考えますがいかがでしょうか。お答えください。

意見を聞きながら個別プランを作る（教育長）

【教育長】「知らない子どもたちが同じ学校になることが不安である」、「跡地はどうなるのか」などの心配がある一方で、「統合すれば友達が増えるから良い」、「クラス替えは必要だと思う」などの意見もあった。様々な意見を受け止めながら、今後個別プランを作成し、審議会の諮問・答申を経て、保護者や地域へ丁寧に説明し、着実に進めたい。

個別プランに高坂水田の取り組みを盛り込むか（再質問）

【さいとう議員】高坂小での「高坂水田」の取り組みを意義あることととらえておられます。統合にあたってこうした特色ある取り組みを継承・発展させるといわれましたが、個別プランに「高坂水田」の取り組みを、盛り込むということなんですね。

盛り込まない（教育長）

【教育長】高坂水田のような教育活動は、個別プランに盛り込む事項ではないが、取り組みの継承は、統合決定後の新しい学校づくりの中で、関係者の意見も聞きながら検討していきたい。

特色ある取り組みが継承される保証がない（意見）

【さいとう議員】「高坂水田」の取り組みは盛り込まないということですが、地域と共同して取り組んでいる、特色ある取り組みが継承される保証はないと考えます。

施設が狭さや通学路の安全性について、具体的な解決策を森高中での統合の個別プランに盛り込むか（再質問）

【さいとう議員】森孝中ブロックの統合について、施設が狭いことや通学路の安全対策について「今後、具体的な取り組みを進める中でしっかり検討する」と答えられましたが、個別プランに具体的な解決策を盛り込むということですか？

施設規模については個別プランで、通学路の安全性については統合決定後に対応する（教育長）

【教育長】森孝中学校ブロックの個別プランでは、統合後の学校規模等を考慮した施設整備を示したい。通学路の安全対策は統合決定後に対応します。

具体的な安全策もないまま個別プランに進むのはずさん（意見）

【さいとう議員】今の説明では、最も大事な子どもの通学路の具体的な安全対策もないまま、個別プランに進むということですね。それは、あまりにずさんな進め方です。

「なごや子ども条例」にもとづき、小学校の存続をのぞむ児童の声を尊重すべき（再質問）

【さいとう議員】教育長は、「学校の統廃合は子どもたちにとっても重大な関心事」と認められましたが、子どもたちには「新しい学校づくりに関するアイデア」を募集すると答弁されました。しかし児童からでている声は、今の学校を無くさないでほしいというものです。

先日、「高坂小をなくさないで」と集会が行われ、地域の方と子どもたちが集まりました。その中で高坂小の高学年の児童が「1クラスで、別になんにも困ってないんです。1年からずっといっしょだし、兄弟みたいに家のこともわかる。久方中に行った先輩が行き帰りに会ったら声をかけてくれる」と話してくれました。

「なごや子ども条例」第7条は、子どもが主体的に参加する権利を保障し、子どもの意見が尊重されるとしています。

高坂小をこのまま残してほしいと言うこの児童の声は、尊重されますか？教育長にお尋ねします。

統合で子どもによりよい環境を実現する（教育長）

【教育長】統合で望ましい学校規模を確保し、子どもたちにとってよりよい教育環境を実現したい。

子どもの声を無視し、教育委員会が主体で統廃合を進める姿勢（意見）

【さいとう議員】なごや子ども条例に反する答弁で驚きました。クラス替えができなくても、何にも困らないという子どもの声を無視して、教育委員会が主体で統廃合を進める姿勢でよいのでしょうか。現状はどの学区も、対象校ごとの「個別プラン」をつくる段階にありません。子どもたちや地域・保護者の意見が重要と再度申し上げ、終わります。